

平成26年度
決算を認定

決算収支は 2億8,974万円の黒字決算

一般会計歳入合計 150億7,623万円 (前年度比5億1,475万円減)
歳出合計 147億8,649万円 (前年度比4億9,574万円減)
差引合計 2億8,974万円 (前年度比 1,902万円増)

平成26年度の奥出雲町各会計決算について決算特別委員会は、代表監査委員からの監査報告を踏まえ、執行部全課室長に出席を求め、歳入は一括、歳出は各款別に詳細に質疑。14事業特別会計は、補足説明確認の後、担当課室毎に質疑を行い議案審査の後、賛成多数で認定しました。

決算特別委員会報告

●一般会計決算状況について

実質単年度収支は、5,613万円の赤字だが、これに財政調整基金積立金26万円と公債費の繰上償還額6億6,072万円を加算すると、6億486万円の黒字決算となっている。歳入のうち町税は13億92万円で、昨年度比較で6,062万円、4.9%の増となっている。歳入に占める割合は8.6%であり、地方交付税(45.1%)に依存した構成になっている。

歳出は義務的経費が39.5%の58億円、消費的経費が24.9%の37億円、投資的経費が15.3%の23億円、その他経費が30億円となっている。

●特別会計の決算状況について

一般会計から14事業特別会計への繰出総額は、18億1,345万円で前年度比7,478万円の増となっているが、主に奥出雲病院事業への増によるものである。他の13事業特別会計の総合収支はどれも黒字決算となっている。

●健全化判断比率等について

実質公債費比率は、単年度で14.3%、3ヵ年平均で15.7% (早期健全化基準は25%以上) となり前年度比1.6ポイント改善している。

将来負担率は、173.4% (早期健全化基準は350%以上) で前年度比4.6ポイント改善している。

実質赤字比率、連結実質赤字比率および資金不足比率は、赤字額は算定されない。

平成27年度から地方交付税の一本算定がなされ、5年間で約6億円の縮減が予想されるが、雇用対策・投資事業費を確保され、地方創生につながる財政運営を期待する。

地方債残高の推移

(単位:百万円)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	前年度比較
残高	44,694	43,856	43,353	42,400	40,993	△1,407